



平成20年1月29日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

植木町マロ塚古墳(*)共同研究成果報告会を開催します。

熊本大学文学部考古学研究室では、古墳時代中期の金工技術を考えるうえで必要不可欠な資料となるマロ塚古墳出土の武器・武具について、初めての研究成果報告会を下記のとおり開催します。

今回の報告会は、マロ塚古墳出土品を所蔵する国立歴史民俗博物館が出土品の整理・公開をめざして平成16年度から開始した共同研究の成果を、地元の方々に広く知っていただくことを目的としたものです。共同研究には本学文学部の杉井健准教授をはじめ、地元の考古学研究者、古墳時代武器・武具研究者が多数参加しています。

つきましては、広く一般の方にお知らせいただきますよう、よろしくお願いいたします。

*) マロ塚古墳は植木町に所在するとされている古墳時代中期の古墳で、保存状態が良好な出土品の武器・武具は国の重要文化財に指定されていますが、未だ、正式な報告書等が刊行されず、広く公開するには至っていません。

記

【日 時】平成20年2月16日(土) 13:00～18:00

【場 所】熊本大学文学部A1教室(黒髪北地区)

【件 名】「マロ塚古墳出土品を中心とした古墳時代中期武器・武具の研究」成果報告会

【対象者】どなたでも(定員250名)

【プログラム】

司会：高木 恭二(宇土市教育委員会) 杉山 晋作(国立歴史民族博物館)

13:00～「共同研究の経緯とマロ塚古墳出土品」杉井 健(熊本大学文学部)

13:40～「熊本県地域における中期古墳の動向」西嶋 剛広(植木町教育委員会)

14:20～ 休憩

14:30～「古墳時代の金工技術」古谷 毅(東京国立博物館)

15:10～「マロ塚古墳出土甲冑の意義」橋本 達也(鹿児島大学総合研究博物館)

15:50～「マロ塚古墳出土武器の意義」鈴木 一有(浜松市教育委員会)

16:30～ 休憩・準備

16:45～ 共同研究メンバーによる討論「マロ塚古墳出土品の意義」

17:45 閉会

申込み不要、参加費はレジュメ代などの実費のみを申し受けます。

詳細は熊本大学ホームページに掲載しています。<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

～お問い合わせ～

文学部 准教授 杉井健

TEL/FAX: 096-342-2421